

目次

膵臓癌・胆嚢癌

[GEM単独療法](#)
[GC\(GEM+CDDP\)療法](#)
[S-1単独療法](#)
[GEM+nab-PTX療法](#)
[FOLFIRINOX療法](#)

食道癌

[FP療法](#)
[DTX単独療法](#)
[Nivolumab単独療法](#)

胃癌

[S-1単独療法](#)
[S-1+DTX療法](#)
[weekly PTX療法](#)
[CPT11単独療法](#)
[Trastuzumab単独療法](#)
[SOX療法](#)
[Ramucirumab+PTX療法](#)
[XP療法](#)
[SOX/HER療法](#)
[Ramucirumab療法](#)
[Nivolumab単独療法](#)
[Ramucirumab+weekly nab-PTX療法](#)
[S-1+CDDP療法](#)
[CAPOX\(Capecitabine + L-OHP\) ± BV療法](#)
[weekly nab-PTX療法](#)

大腸癌

[mFOLFOX6療法](#)
[mFOLFOX6+Bev療法](#)
[mFOLFOX6+Pmab療法](#)
[FOLFIRI療法](#)
[FOLFIRI+Bev療法](#)
[FOLFIRI+Rmab療法](#)
[Pmab単独療法](#)
[Capecitabine単独療法](#)
[CAPOX\(Capecitabine + L-OHP\)療法](#)
[CAPOX\(Capecitabine + L-OHP\) ± Bev療法](#)
[CAPOX\(Capecitabine + L-OHP\) ± Pmab療法](#)
[S-1単独療法](#)
[SOX-Bev療法](#)
[CPT11単独療法](#)
[CPT11+Pmab療法](#)
[CPT11+Bev療法](#)
[TAS102\(ロンサーフ\)単独療法](#)
[TAS102\(ロンサーフ\)+Bev療法](#)
[Regorafenib単独療法](#)

消化間質腫瘍

[GIST](#)

小細胞肺癌

[CBDCA+ETP療法](#)
[CDDP+ETP療法](#)
[CPT-11+CDDP療法](#)

[Atezolizumab + CBDCA + ETP療法 \(IMpower133\)](#)
[CPT-11単独療法](#)
[NGT単独療法](#)

非小細胞肺癌

[Alectinib単独療法](#)
[Afatinib単独療法](#)
[Osimertinib単独療法](#)
[Gefitinib単独療法](#)
[Erlotinib+Ramucirumab療法](#)
[Durvalumab単独療法](#)
[Atezolizumab単独療法](#)
[Nivolumab単独療法](#)
[Pembrolizumab単独療法](#)
[Pembrolizumab単独療法](#)
[DTX単独療法](#)
[GEM単独療法](#)
[nab-PTX単独療法](#)
[Pemetrexed単独療法](#)
[S-1単独療法](#)
[VNR単独療法](#)
[CDDP+PEM療法](#)
[Ramucirumab+DTX療法](#)
[IMpower150](#)
[CDDP+PEM+Pembro療法](#)
[CBDCA+PEM+Pembro療法](#)
[CBDCA+PTX+Pembro療法](#)
[Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法](#)
[Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法](#)
[Atezolizumab+CBDCA+ETP療法](#)
[Atezolizumab+CBDCA+PEM療法](#)
[CDDP+GEM+Pembro療法](#)
[CDDP+VNR療法](#)

乳癌

[CMF \(CPA+MTX+5FU\)療法](#)
[FEC \(5FU+EPI+CPA\)療法](#)
[DTX単独療法](#)
[weekly PTX単独療法](#)
[weeklyPTX+Trastuzumab療法](#)
[VNR単独療法](#)
[EC \(EPI+CPA\)療法](#)
[S-1単独療法](#)
[GEM単独療法 NEW](#)
[Capecitabine単独療法](#)
[Lapatinib+Capecitabine単独療法](#)
[Palbociclib+Fulvestrant療法](#)
[Abemaciclib+Fulvestrant療法](#)
[Fulvestrant療法](#)
[Trastuzumab単独療法](#)
[Trastuzumab単独療法](#)
[weekly nab-PTX単独療法](#)
[weeklyPTX+Trastuzumab療法](#)

悪性リンパ腫

[CHOP療法](#)

関節リウマチ

[レミケード療法](#)

[ヒュミラ療法](#)

[オレンシア\(点滴静注\)療法](#)

[オレンシア\(皮下注\)療法](#)

[エンブレル療法](#)

[\(エタネルセプト\)](#)

[シンボニー療法](#)

[ケフサラ療法](#)

[シムジア療法](#)

[アクテムラ療法](#)

[Atezolizumab+CBDCA+PEM療法](#)

[バリシチニブ療法](#)

[ペフィシチニブ療法](#)

[ウパダシチニブ療法](#)

[ナノゾラ療法](#)

GEM単独療法

<対象疾患>切除不能進行膵癌、術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	・	・	8	・	・	15	・	・	28		
①	グラニセトロン静注液3mg	100mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	デキサート注射液3.3mg	2A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2													
③	生理食塩液	50mL	全開	↓			↓			↓					
			flash用												
	内服制吐剤	☒ 必要なし ☐ 必要あり													
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

4週間で1クール

3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

<備考欄>

- ・ ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- ・ 減量基準
血液学的毒性: Grade1-2 → 減量なし Grade3-4 → 1000mg/m2を800mg/m2に変更
悪心嘔吐: Grade1-2 → 減量なし Grade3-4 → 1000mg/m2を800mg/m2に変更
血清クレアチニン値: 基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2 → 800mg/m2に変更
非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く)
grade1 → 減量なし Grade2-4: 1000 → 800mg/m2に減量

<対象疾患> 切除不能胆道癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	21		
①	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注 30分	↓			↓								
	デキサート注3.3mg	2A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓			↓								
	ゲムシタピン(GEM)	1000mg/m2													
③	ソルデム3A輸液	500mL	点滴静注 60分	↓			↓								
	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4A													
④	生理食塩液	500mL	点滴静注 120分	↓			↓								
	シスプラチン注	25mg/m2													
⑤	生理食塩液	500mL	点滴静注 60分	↓			↓								
	内服制吐剤	☒ 必要 ☒ アプレピタントカプセル (Day1より3日間) 2回目以降は適宜 ☒ デキサメタゾン錠 (8mg/日をDay2より3日間)													
	その他前投薬	☒ 必要なし、 ☐ 必要あり													
	経口抗がん剤併用薬	☐ 不要、 ☐ 必要													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

- day8投与可否基準
WBC>2000, Plt>70,000, AST/ALT<5
- 減量基準・GEM
白血球数、好中球数、血小板数 grade4
発熱性好中球減少症 grade2
非血液毒性 grade3
- 中止基準
投与回数 16回投与された場合
血清Cr $\geq 1.2\text{mg/dL}$ が7日以上継続し、投与開始できない場合
末梢神経障害・臓器障害 grade2
アナフィラキシー・アレルギー反応 grade3
- 減量方法

	初回投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量
GEM	1000mg/m2	800mg/m2	600mg/m2	中止
CDDP	25mg/m2	中止		

＜対象疾患＞切除不能胆道癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール													
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29			42
①	S-1	1.25m2未満 40mg/回	●													▶	休薬
		≥1.25,<1.5m2 50mg/回															
		1.5m2以上 60mg/回															
	内服制吐剤	☒ 必要なし、 ☐ 必要あり															
	その他前投薬	☐ 不要、 ☐ 必要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

＜投与期間＞

6週間で1クール

＜備考欄＞

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

<対象疾患>PS0-1の切除不能な膵癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28		
①	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	デキサート注3.3mg	2A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
④	生理食塩液	500mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	アブラキサン点滴静注用	125mg/m2													
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓			↓					
	内服制吐剤	☒ 必要 ☒ アプレピタントカプセル(Day1より3日間) 2回目以降は適宜													
		☐													
	その他前投薬	☐													
	フィルター	☒ インラインフィルターは使用しない													
	経口抗がん剤併用薬														
	備考														

<投与期間>
4週間で1クール

<備考欄>

・ 投与可否基準

	Day1	Day8,15
好中球数	1500/mm3以上	1000/mm3を超える
血小板数	100,000/mm3以上	50,000/mm3以上
AST,ALT	1500/mm2以上	-
発熱性好中球減少症	認めない	
末梢神経障害	grade2以下 又は 前コースでgrade3以上が発現した場合grade1以下に復帰後	
口腔粘膜塩		
下痢		

・ 減量基準・GEM

	減量の目安	次回投与時
好中球数	<500mm3が7日以上継続	1段階減量
血小板数	<50,000/mm3	1段階減量
発熱性好中球減少症	発現(≥Grade3)	1段階減量
末梢神経障害	≥Grade3	1段階減量(nab-PTXのみ)
皮疹	Grade2/3	1段階減量
口腔粘膜炎	≥Grade3	1段階減量
下痢	≥Grade3	1段階減量

・ 減量方法

	nab-PTX	GEM	
通常投与量	125mg/m2	1000mg/m2	
1段階減量	100mg/m2	800mg/m2	
2段階減量	75mg/m2	600mg/m2	

FOLFIRINOX療法

<対象疾患> 切除不能例(術後再発を除く)に対する一次治療

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.5mg	50mL	点滴静注	↓							
	デキサート注3.3mg	2A	30分								
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	オキサリプラチン	85mg/m2	120分								
③	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓							
	レボホリナート	200mg/m2	120分								
③	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	↓							
	イリノテカン	180mg/m2	90分								
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
	5FU	400mg/m2	5分								
⑤	生理食塩液	必要量	点滴静注	↓							
	5FU	2400mg/m2	46時間*								
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	⑤はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
白血球 $\geq$ 3000
好中球数 $\geq$ 1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数 $\geq$ 10万以上
T-Bil $\leq$ 2
AST/ALT $<$ 100
Cr $\leq$ 1.2
尿蛋白 $\leq$ 100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準
1.好中球 $\geq$ 1500
2.血小板数 $\geq$ 75.00

減量基準
白血球数 $<$ 1000
好中球 $<$ 500
血小板数 $<$ 50,000発熱38度未満
下痢grade2以上
その他grade3以上
延期が2回発生

食道癌

FP療法

<対象疾患> 食道癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	5	6	10	16	17	21	28	
①	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
②	ソルデム3A輸液	500mL	点滴静注	↓											
	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4A	60分												
③	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	シスプラチン注	80mg/m2	60分												
④	生理食塩液	50mL	点滴静注		↓	↓	↓	↓							
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
⑤	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓	↓	↓	↓	↓							
	5FU	800mg/m2	24時間												
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分						↓						
		☒ 必要													
	内服制吐剤	☒ アプレピタントカプセル（Day1より3日間） 2回目以降は適宜													
		☒ デキサメタゾン錠（8mg/日をDay2より3日間）													
	その他前投薬	☒ 必要なし、 ☐ 必要あり													
	経口抗がん剤併用薬	☐ 不要、 ☐ 必要													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

・ 減量基準

白血球数	<1000	
血小板数	<25,000	
発熱性好中球減少症	発現	CDDP60,5FU600に減量
血清クレアチニン値	Cr>1.5	CDDP 60に減量

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21						
①	グラニセロン点滴静注1mg	100mL	点滴静注	↓															
	デキサート注3.3mg	2A	30分																
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓															
	ドセタキセル	70mg/m2	60分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
			30分																
		☒ 必要																	
	内服制吐剤	☒ デキサメタゾン錠8mg(Day2より3日間) 2回目以降は適宜																	
		☐																	
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要																	
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	備考																		

＜投与期間＞

3週間で1クール

＜備考欄＞

- 投与可否基準

好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,000/mm3以上

- 投与中止

AST,ALT>1.5×ULNかつALP>2.5×ULN

食道癌

Nivolumab単独療法
＜対象疾患＞ 癌化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	オプジーボ点滴静注	240mg/body	60分								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
	内服制吐剤	☒ 必要なし、 ☐ 必要あり									
	その他前投薬	☐ 不要、 ☐ 必要									
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	経口抗がん剤併用薬										
	備考										

＜投与期間＞
2週間で1クール

胃癌

S-1単独療法

<対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール													
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29			42
①	S-1	1.25m2未満	40mg/回														
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回	●													
		1.5m2以上	60mg/回														
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

<投与期間>

6週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

S-1+DTX療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

Atezolizumab+CBDCA+PEM療法 NEW

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール												
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21			
①	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	↓												
	デキサート注3.3mg	2A	30分													
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓												
	ドセタキセル	40mg/m2	60分													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓												
			30分													
④	S-1	1.25m2未満	40mg/回	●										▶	休薬	
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回													
		1.5m2以上	60mg/回													
内服制吐剤		☑不要														
その他前投薬		☐不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用														
経口抗がん剤併用薬																
フィルター		☑インラインフィルターを使用する														
備考																

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール													
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	28			
①	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注 30分	↓				↓				↓					
	ファモチジン静注20mg	1A															
	デキサート注3.3mg	2A															
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注 30分	↓				↓				↓					
	パクリタキセル	100mg/m2															
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓				↓				↓					
	内服制吐剤	☐ 不要 ☒ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服															
		☐ 不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
	その他前投薬	☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用															
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する															
	備考																

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	第1段階	第2段階
減量	80mg/m2	60mg/m2

CPT11単独療法

<対象疾患> 切除不能・再発食道癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓					↓						
	デキサート注3.3mg	2A	15分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓					↓						
	イリノテカン	150mg/m2	60分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓					↓						
			15分																
	内服制吐剤	☒ 不要 ☐ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服 ☐ 不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用																	
	その他前投薬																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

Trastuzumab単独療法

<対象疾患> 切除不能・再発食道癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓			↓					↓							
②	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓			↓					↓							
	ハーセプチン(初回)	8mg/kg	90分																
	ハーセプチン(2回目以降)	6mg/kg	60or30分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓					↓							
			15分																
	内服制吐剤	☒ 不要																	
	その他前投薬	☒ 不要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

SOX療法
＜対象疾患＞切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール												
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21			
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注	↓												
	デキサート注3.3mg	3A	30分													
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓												
	オキサリプラチン	100mg/m2	120分													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓												
			15分													
④	S-1	1.25m2未満	40mg/回	●										休薬		
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回													
		1.5m2以上	60mg/回													
内服制吐剤	□不要 ☒ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服															
	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
	その他前投薬															
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する														
	備考															

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

・減量方法

	S-1			L-OHP
	<1.25m2	≥1.25m2 <1.5	≥1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

胃癌

Ramucirumab+PTX療法
＜対象疾患＞切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓			↓				↓								
	ファモチジン静注20mg	1A																	
	デキサート注3.3mg	2A																	
②	レスタミン錠	内服		↓		↓				↓									
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓				↓								
④	生理食塩液	250mL	点滴静注 60分*	↓							↓								
	サイラムザ	8mg/kg																	
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							↓								
⑥	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注 60分	↓			↓				↓								
	タキソール注	80mg/m2																	
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓			↓				↓								
	内服制吐剤	□不要 ☒ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服																	
		□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用																	
	その他前投薬	□不要 ☒ レスタミンコーワ錠10mg 5錠																	
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴																	

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

・減量方法

		1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2-3g/day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	中止
	>3g/day	中止	-	-
高血圧	≤grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade3 無症状で2 週間以上継 続	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade4	中止	-	-
infusion reaction		grade3-4 中止	-	-

胃癌

XP療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
②	生理食塩液	250mL	点滴静注 90分	↓											
	トラスツズマブ	8mg/kg*													
③	生理食塩液	500mL	点滴静注 60分	↓											
④	パロノセトロン点滴静注用0.75mg	100mL	点滴静注 30分	↓											
	デキサート注3.3mg	3A													
⑤	生理食塩水	500mL	点滴静注 120分	↓											
	シスプラチン	80mg/m2													
⑥	マンニトール	300mL	点滴静注 30分	↓											
⑦	生理食塩液	1000mL	点滴静注 180分	↓											
	塩化カリウム注キット	1キット													
	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4キット													
⑧	カペシタビン	1.36m2未満 1200mg/回		●									休薬		
		1.36m2- 1.66m2	1500mg/ 回												
		1.66-1.96m 2	1800mg/ 回												
		1.96m2以上	2100mg/ 回												
	内服制吐剤	☐ 不要 ☒ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服 ☐ 不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用													
	その他前投薬														
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目以降は6mg/kg													

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

SOX/HER療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール												
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21			
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓												
			15分													
②	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓												
	トラスツズマブ	8mg/kg*	90分*													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓												
			15分													
④	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	↓												
	デキサート注3.3mg	3A**	30分													
⑤	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓												
	オキサリプラチン	100mg/m2	120分													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓												
			15分													
⑦	S-1	1.25m2未満	40mg/回	●										休薬		
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回													
		1.5m2以上	60mg/回													
	内服制吐剤	□不要 ☒ 必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服														
		□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用														
	その他前投薬															
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する														
	備考	*2回目以降は6mg/kg 60or30分 **アプレピタント内服で減量考慮														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

	S-1			L-OHP
	<1.25m2	≥1.25m2 <1.5	≥1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

胃癌

Ramucirumab療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓								↓							
	ファモチジン静注20mg	1A																	
	デキサート注3.3mg	2A																	
②	レスタミン錠	内服		↓								↓							
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓								↓							
④	生理食塩液	250mL	点滴静注 60分*	↓								↓							
	サイラムザ	8mg/kg																	
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓								↓							
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服																	
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用																	
	経口抗がん剤併用薬	□不要 ☑レスタミンコーワ錠10mg 5錠																	
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する																	
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴																	

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

		1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2-3g/day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	中止
	>3g/day	中止	-	-
高血圧	≤grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade3 無症状で2 週間以上継続	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade4	中止	-	-
infusion reaction		grade3-4 中止	-	-

Nivolumab単独療法
＜対象疾患＞ 癌化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール									
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14			
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓									
			15分										
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓									
	オブジーボ点滴静注	240mg/body	60分										
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓									
			15分										
	内服制吐剤	☒ 必要なし ☐ 必要											
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要											
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する											
	経口抗がん剤併用薬												
	備考												

＜投与期間＞
2週間で1クール

Ramcirumab+weekly nab-PTX療法
＜対象疾患＞ 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓					↓							
				↓								↓							
②	レスタミン錠	内服		↓								↓							
③	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓								↓							
	サイラムザ	8mg/kg	60分*																
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓								↓							
			15分																
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓					↓							
	アブラキサン	100mg/m2	30分																
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓					↓							
			15分																
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服																	
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用																	
	経口抗がん剤併用薬	□不要 ☑レスタミンコーワ錠10mg 5錠は最初の生理食塩水開始時に服用																	
	フィルター	☑アブラキサン投薬時はインラインフィルターを使用しない。																	
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴																	

＜投与期間＞
4週間で1クール

＜備考欄＞

・減量方法

	Ramcirumab	1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2-3g/day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合は中止	中止
	>3g/day	中止	-	-
高血圧	≤grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade3 無症状で2 週間以上継続	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade4	中止	-	-
infusion reaction	grade3-4	中止	-	-

nab-PTX	コース内基準/次コース開始基準	減量基準
好中球数	≥1,000/mm3	<500/mm3
発熱性好中球減少症	認めない。回復	発現
血小板数	≥75,000/mm3	<25,000/mm3
AST,ALT	≤ULN×2.5倍（原疾患に起因 又は肝転移を有する場合は施設基準上限の5倍	医師が同一用量で投与継続困難と判断
末梢神経障害	≤grade2	≥grade3
皮膚障害	≤grade1	≥grade2
粘膜炎・下痢	≤grade1	≥grade2

減量の目安

減量段階	nab-PTX	Ramcirumab
通常投与量	100mg/m2	8mg/kg
1段階減量	80mg/m2	6mg/kg
2段階減量	60mg/m2	5mg/kg

S-1+CDDP療法
<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール												
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21			
①	生理食塩液	500mL	点滴静注 120分													
②	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分				↓									
③	デキサート注3.3mg	3A					↓									
③	生理食塩液	500mL	点滴静注 120分													
③	シスプラチン	80mg/m2														
④	マンニトール	300mL	点滴静注 30分	↓												
⑤	生理食塩液	1000mL	点滴静注 180分	↓												
⑤	塩化カリウム注キット	1キット														
⑤	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4キット														
⑥	S-1	1.25m2未満 40mg/回 ≥1.25,<1.5m2 50mg/回 1.5m2以上 60mg/回		●										▶	休薬	
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセル3日分内服、□オランザピン5mg内服														
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用														
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する														
	備考															

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

	S-1			CDDP
	<1.25m2	≥1.25m2 <1.5	≥1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	60mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

CAPOX (Capecitabine + L-OHP) ±BV療法
＜対象疾患＞ 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	グラニセトロン	100mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ペバシズマブ	7.5mg/kg	90分*												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
④	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	↓											
	オキサリプラチン	130mg/m2	120分												
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
⑥	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回	●										休薬	
		1.36m2-1.66m2	1500mg/回												
		1.66-1.96m2	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能													

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

weekly nab-PTX療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（2次治療）

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓				↓								
				↓			↓				↓								
②	レスタミン錠	内服		↓			↓				↓								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓				↓								
	アブラキサン	100mg/m2	30分																
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓				↓								
			15分																
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服																	
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用																	
	経口抗がん剤併用薬	□不要 ☑レスタミンコーワ錠10mg 5錠は最初の生理食塩水開始時に服用																	
	フィルター	☑アブラキサン投薬時はインラインフィルターを使用しない。																	
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴																	

<投与期間>
4週間で1クール

<備考欄>
・減量方法

nab-PTX	コース内基準/次コース開始基準	減量基準
好中球数	≥1,000/mm3	<500/mm3
発熱性好中球減少症	認めない。回復	発現
血小板数	≥75,000/mm3	<25, 000/mm3
AST,ALT	≤ULN×2.5倍（原疾患に起因 又は肝転移を有する場合は施 設基準上限の5倍	医師が同一用量で投 与継続困難と判断
末梢神経障害	≤grade2	≥grade3
皮膚障害	≤grade1	≥grade2
粘膜炎・下痢	≤grade1	≥grade2

減量の目安

減量段階	nab-PTX
通常投与量	100mg/m2
1段階減量	80mg/m2
2段階減量	60mg/m2

大腸癌

mFOLFOX6療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	↓							
	デキサート注3.3mg	3A	30分								
②	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	↓							
	レボホリナート	200mg/m2	120分								
②	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	↓							
	オキサリプラチン	85mg/m2	120分								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
	5FU	400mg/m2	5分								
④	生理食塩液	必要量	点滴静注	↓							
	5FU	2400mg/m2	46時間								
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayをday2-3使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	②は同時に点滴 ④はインフューザーポンプを使用									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注 30分*	↓							
	デキサート注3.3mg	3A									
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 90分*	↓							
	ペバシズマブ	5mg/kg									
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 120分	↓							
	レボホリナート	200mg/m2									
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 120分	↓							
	オキサリプラチン	85mg/m2									
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
	5FU	400mg/m2									
⑥	生理食塩液	必要量	点滴静注 46時間*	↓							
	5FU	2400mg/m2									
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	*①開始と同時にレスタミン錠内服、2回目は60分、3回目は30分でも可能*⑥はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
PS: 0-2
Hb: 9以上
好中球数 ≥ 1500
血小板数 ≥ 10万以上
T-Bil ≤ 1.5 × ULN
AST/ALT ≤ 2.5 × ULN
Cr ≤ ULN

2回目以降の投与基準
1.好中球 ≥ 1500
2.血小板数 ≥ 75,000

減量基準
好中球 < 500
血小板数 < 50, 000
5FUを20%減量
オキサリプラチンは65mg/m2に減量

大腸癌

mFOLFOX6+Pmab療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分*	↓							
	デキサート注3.3mg	3A									
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 60分*	↓							
	ベクティビックス	6mg/kg									
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 120分	↓							
	レボホリナート	200mg/m2									
④	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注 120分	↓							
	オキサリプラチン	85mg/m2									
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
	5FU	400mg/m2									
⑥	生理食塩液	必要量	点滴静注 46時間*	↓							
	5FU	2400mg/m2									
	内服制吐剤	□不要 ☑アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayをday2-3使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	*①開始と同時にレスタミン錠内服*②はインフュージョンリアクションに注意*⑥はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
PS:0-2
Hb:9以上
好中球数 ≥ 1500
血小板数 ≥ 10 万以上
T-Bil $\leq 1.5 \times \text{ULN}$
AST/ALT $\leq 2.5 \times \text{ULN}$
Cr $\leq \text{ULN}$

2回目以降の投与基準
1.好中球 ≥ 1500
2.血小板数 $\geq 75,000$

減量基準
好中球 < 500
血小板数 $< 50,000$
5FUを20%減量
オキサリプラチンは65mg/m2に減量

FOLFIRI療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	↓							
	デキサート注3.3mg	2A	30分								
②	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	↓							
	レボホリナート	200mg/m2	120分								
②	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	↓							
	イリノテカン	180mg/m2	120分								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
	5FU	400mg/m2	5分								
④	生理食塩液	必要量	点滴静注	↓							
	5FU	2400mg/m2	46時間*								
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	⑥はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
白血球 $\geq$ 3000
好中球数 $\geq$ 1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数 $\geq$ 10万以上
T-Bil $\leq$ 2
AST/ALT $<$ 100
Cr $\leq$ 1.2
尿蛋白 $\leq$ 100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準
1.好中球 $\geq$ 1500
2.血小板数 $\geq$ 75.000

減量基準
白血球数 $<$ 1000
好中球 $<$ 500
血小板数 $<$ 50, 000発熱38度未満
下痢grade2以上
その他grade3以上
延期が2回発生

FOLFIRI+Bev療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	↓							
	デキサート注3.3mg	2A	30分								
②	生理食塩水	100mL	点滴静注	↓							
	ペバシズマブ	5mg/kg	30分								
③	生理食塩水	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	↓							
	レボホリナート	200mg/m2	120分								
④	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	↓							
	イリノテカン	180mg/m2	120分								
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
	5FU	400mg/m2	5分								
⑥	生理食塩液	必要量	点滴静注	↓							
	5FU	2400mg/m2	46時間*								
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	⑥はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
白血球 $\geq$ 3000
好中球数 $\geq$ 1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数 $\geq$ 10万以上
T-Bil $\leq$ 2
AST/ALT $<$ 100
Cr $\leq$ 1.2
尿蛋白 $\leq$ 100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準
1.好中球 $\geq$ 1500
2.血小板数 $\geq$ 75.000

減量基準
白血球数 $<$ 1000
好中球 $<$ 500
血小板数 $<$ 50, 000発熱38度未満
下痢grade2以上
その他grade3以上
延期が2回発生

FOLFIRI+Rmab療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注 30分*	↓							
	デキサート注3.3mg	2A									
②	生理食塩水	100mL	点滴静注 60分*	↓							
	サイラムザ	8mg/kg									
③	生理食塩水	50mL	点滴静注 15分	↓							
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 120分	↓							
	レボホリナート	200mg/m2									
④	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注 90分	↓							
	イリノテカン	180mg/m2									
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
	5FU	400mg/m2									
⑥	生理食塩液	必要量	点滴静注 46時間*	↓							
	5FU	2400mg/m2									
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用、レスタミン錠 50mg服用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	*1開始とともにレスタミン錠内服*2サイラムザは2回目以降は忍容性があれば30分間で投薬⑥はインフューザーポンプを使用する									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
白血球 $\geq$ 3000
好中球数 $\geq$ 1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数 $\geq$ 10万以上
T-Bil $\leq$ 2
AST/ALT $<$ 100
Cr $\leq$ 1.2
尿蛋白 $\leq$ 100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準
1.好中球 $\geq$ 1500
2.血小板数 $\geq$ 75.000

減量基準
白血球数 $<$ 1000
好中球 $<$ 500
血小板数 $<$ 50, 000発熱38度未満
下痢grade2以上
その他grade3以上
延期が2回発生

大腸癌

Pmab単独療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール									
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14			
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓									
			15分										
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓									
	ベクティビックス	6mg/kg	60分										
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓									
			15分										
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ アプレピタントカプセル3日分内服											
	その他前投薬	☐ 不要 ☒											
	経口抗がん剤併用薬												
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する											
	備考	*①開始と同時にレスタミン錠内服*②はインフュージョンリアクションに注意*⑥はインフューザーポンプを使用する											

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
G3以上の皮膚症状:投与延期
投与量6mg/kg
6週以内 G2以下
6週以内に回復せず(投与中止)
投与量4.8mg/kg
6週以内 G2以下
6週以内に回復せず(投与中止)
投与量3.6mg/kg
6週以内にG2以下にならなければ投与中止

2回目以降の投与基準
1.好中球 $\geq$ 1500
2.血小板数 $\geq$ 75.000

大腸癌

Capecitabine単独療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回											休業	
		1.36m2-1.66m2	1500mg/回	●											
		1.66-1.96m	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	□インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

大腸癌

CAPOX(Capecitabine + L-OHP)療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分	↓											
	デキサート注3.3mg	1A													
	ファモチジン静注20mg	1A													
②	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注 120分	↓											
	オキサリプラチン	130mg/m2													
②	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注 120分	↓											
	デキサート注3.3mg	2A													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
④	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回	●											
		1.36m2- 1.66m2	1500mg/回												
		1.66-1.96m	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能													

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

投与開始基準
好中球≥1500
血小板≥7.5万
AST/ALT<100
T-Bil<2
Cr<1.5×ULN
カペシタビン投与基準
禁忌CCR<30
75%投与量 30≤CCR≤50

オキサリプラチン減量基準
好中球<500
血小板<50000
G3以上の有害事象

CAPOX (Capecitabine + L-OHP) ± Bev療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分	↓											
	デキサート注3.3mg	1A													
	ファモチジン静注20mg	1A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 90分*	↓											
	ペバシズマブ	7.5mg/kg													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
④	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注 120分	↓											
	オキサリプラチン	130mg/m2													
④	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注 120分	↓											
	デキサート注3.3mg	2A													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
⑦	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回	●										▶	休薬
		1.36m2-1.66 m2	1500mg/回												
		1.66-1.96m2	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能													

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

<備考欄>

投与開始基準
好中球≥1500
血小板≥7.5万
AST/ALT<100
T-Bil<2
Cr<1.5×ULN
カペシタビン投与基準
禁忌CCR<30
75%投与量 30≤CCR≤50

オキサリプラチン減量基準
好中球<500
血小板<50000
G3以上の有害事象

ペバシズマブ休薬基準
出血G2
タンパク尿G2: 100mg/dL以下になるまで
肝機能障害
ペバシズマブ休薬基準中止基準
過敏症G3以上
消化管穿孔・裂開
出血G3
血栓症・塞栓症G3(静脈系)
血栓症・塞栓症G1(動脈系)
高血圧G3以上(薬物制御不可)
蛋白尿G4
中枢神経症状発現

カペシタビンの減量基準
G2の副作用⇒G0-1まで休薬
2回目の減量1段階 3回目減量2段階で再開

大腸癌

CAPOX (Capecitabine + L-OHP) ± Pmab療法

<対象疾患> 切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分	↓											
	デキサート注3.3mg	1A													
	ファモチジン静注20mg	1A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 60分	↓											
	ベクティビックス	6mg/kg													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
④	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注 120分	↓											
	オキサリプラチン	130mg/m2													
④	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注 120分	↓											
	デキサート注3.3mg	2A													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
⑦	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回	●										▶	休薬
		1.36m2-1.66m2	1500mg/回												
		1.66-1.96m2	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
	内服制吐剤	□不要 □アブレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

<備考欄>

投与開始基準
好中球 $\geq$ 1500
血小板 $\geq$ 7.5万
AST/ALT $<$ 100
T-Bil $<$ 2
Cr $<$ 1.5 $\times$ ULN
カペシタビン投与基準
禁忌CCR $<$ 30
75%投与量 30 $\leq$ CCR $\leq$ 50

オキサリプラチン減量基準
好中球 $<$ 500
血小板 $<$ 50000
G3以上の有害事象

ベバシズマブ休薬基準
出血G2
タンパク尿G2: 100mg/dL以下になるまで
肝機能障害
ベバシズマブ休薬基準中止基準
過敏症G3以上
消化管穿孔・裂開
出血G3
血栓症・塞栓症G3(静脈系)
血栓症・塞栓症G1(動脈系)
高血圧G3以上(薬物制御不可)
蛋白尿G4
中枢神経症状発現

カペシタビンの減量基準
G2の副作用 $\Rightarrow$ G0-1まで休薬
2回目の減量1段階 3回目減量2段階で再開

大腸癌

S-1単独療法

<対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29			42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
①	S-1	1.25m2未満	40mg/回	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

<投与期間>

6週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

大腸癌

SOX-Bev療法

＜対象疾患＞切除不能・再発胃癌（1次治療）、術後補助化学療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分	↓											
	デキサート注3.3mg	1A													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 90分*	↓											
	ペバシズマブ	7.5mg/kg													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
④	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注 120分	↓											
	オキサリプラチン	130mg/m2													
④	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注 120分	↓											
	デキサート注3.3mg	2A													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	↓											
⑦	S-1	1.25m2未満 40mg/回	●											休薬	
		≥1.25,<1.5m2 50mg/回													
		1.5m2以上 60mg/回													
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能													

＜投与期間＞

3週間で1クール

＜備考欄＞

・減量方法

	S-1			L-OHP
	<1.25m2	≥1.25m2 <1.5	≥1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

<対象疾患> 切除不能・再発食道癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール									
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14			
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓					
	デキサート注3.3mg	2A											
②	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 90分	↓				↓					
	イリノテカン	150mg/m2											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓					
	内服制吐剤	☒ 不要											
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用											
	経口抗がん剤併用薬												
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する											
	備考												

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患>

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール									
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14			
①	パロノセトロン	50mL	点滴静注 15分	↓				↓					
	デキサート注3.3mg	2A											
	硫酸Mg補正液	1A											
②	生理食塩液	50mL	点滴静注 60分	↓				↓					
	ベクティビックス	6mg/kg											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓					
④	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注 90分	↓				↓					
	イリノテカン	150mg/m2											
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓					
	内服制吐剤	☑不要											
	その他前投薬	☐不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用											
	経口抗がん剤併用薬												
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する											
	備考												

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患>

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
		15分									
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	ベバシズマブ	5mg/kg	90分*								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
④	パロノセトロン	50mL	点滴静注	↓							
	デキサート注3.3mg	2A	15分								
⑤	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	↓							
	イリノテカン	150mg/m2	90分								
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
	内服制吐剤	☑不要 ☐必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服									
		☐不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用									
	その他前投薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能									

<投与期間>
2週間で1クール

<備考欄>

TAS102(ロンサーフ)単独療法

<対象疾患>

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積(m2)	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	21	28		
①	ロンサーフ	1.07未満	70mg/day																
		1.07以上 1.23未満	80mg/day																
		1.23以上 1.38未満	90mg/day																
		1.38以上 1.53未満	100mg/day																
		1.53以上 1.69未満	110mg/day	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			休薬	
		1.69以上 1.84未満	120mg/day																
		1.84以上 1.99未満	130mg/day																
		1.99以上 2.15未満	140mg/day																
		2.15以上	150mg/day																
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ アプレピタントカプセル3日分内服																	
	その他前投薬	☐ 不要 ☐ 必要に応じてデキサメタゾン8mgをday2から2日間内服																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	フィルター	☐ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患>

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール														
			点滴時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓													↓	
			15分															
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓													↓	
	ペバシズマブ	5mg/kg	90分*															
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓													↓	
			15分															
④	ロンサーフ	1.07未満	70mg/day															
		1.07以上	80mg/day															
		1.23未満	90mg/day															
		1.23以上	90mg/day															
		1.38未満	100mg/day															
		1.38以上	100mg/day															
		1.53未満	110mg/day		●	●	●	●	●	休薬	休薬	●	●	●	●	●	休薬	
		1.53以上	110mg/day															
		1.69未満	120mg/day															
		1.69以上	120mg/day															
	1.84未満	130mg/day																
	1.84以上	130mg/day																
	1.99未満	140mg/day																
	1.99以上	140mg/day																
	2.15未満	150mg/day																
	2.15以上	150mg/day																
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服																
	その他前投薬	□不要 □必要に応じてデキサメタゾン8mgをday2から2日間内服																
	経口抗がん剤併用薬																	
	フィルター	□インラインフィルターを使用する																
	備考																	

<投与期間>
4週間で1クール

<備考欄>

大腸癌

Regorafenib単独療法

<対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	21	22	25	26	28		
①	Regorafenib	160mg/day	1日1回経口投与	●										▶		休薬			
	内服制吐剤	☒ 不要																	
	その他前投薬	☒ 不要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

用量調節段階	投与量
通常投与量	1日1回160mg
1段階減量	1日1回120mg
2段階減量	1日1回80mg

消化管間質腫瘍

GIST

レジメン名	薬品名	投与量	投与日																											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
Imatinib単独療法 連日	Imatinib グリベック	400mg/body	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			連日経口投与、1日1回																											

レジメン名	薬品名	投与量	投与日																											
			1	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
Sunitinib単独療法 1クール42日	Sunitinib スーテント	50mg/body	○	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	○															
			4週間連日経口投与、1日1回														休薬													

小細胞肺癌

CBDCA+ETP療法

<対象疾患>小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	グラニセロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
②	生理食塩液	50mL	点滴静注		↓	↓									
			15分												
③	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
	エトポシド	100mg/m2	75分												
④	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC5	30分												
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			15分												
	内服制吐剤	□不要 ☒ 必要 アプレピタントカプセル3days内服													
	その他前投薬	□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	□													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患>小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	硫酸Mg補正液	0.4A	90分												
②	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			90分												
③	20%マンニトール注	300mL	点滴静注	↓											
			40分												
④	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
④	生理食塩液	100mL	点滴静注		↓	↓	↓								
			30分												
⑤	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	↓	↓	↓									
	ベブシド注	100mg/m2	60分												
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	シスプラチン	80mg/m2	120分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			90分												
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
			90分												
	内服制吐剤	□不要 ☒ 必要 アプレピタントカプセル3days内服													
	その他前投薬	□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

<備考欄>

小細胞肺癌

CPT-11+CDDP療法

<対象疾患> 小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	硫酸Mg補正液	0.4A	90分												
②	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			90分												
③	20%マンニトール注	300mL	点滴静注	↓											
			40分												
④	パロノセトロン点滴静注0.75mg	500mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
④'	生理食塩液	100mL	点滴静注		↓	↓	↓								
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
⑤	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	シスプラチン注	60mg/m2	120分												
③	ラシックス注20mg	1A	側注	↓											
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
	イシノテカン	60mg/m2	90分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			90分												
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
			90分												
	内服制吐剤	□不要 ☒ 必要 アプレピタントカプセル3days内服													
	その他前投薬	□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンも嘔気予防で使用する可能性がある(糖尿病禁忌)。													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

小細胞肺癌

Atezolizumab + CBDCA + ETP療法 (IMpower133) NEW
<対象疾患> 小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
①'	生理食塩液	50mL	点滴静注		↓	↓									
	デキサート注3.3mg	1A	15分												
②	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓											
	テセントリク点滴静注	1200mg	60分*												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
④	グラニセロン点滴静注3mg**	100mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
⑤	生理食塩液 or 5%ブドウ糖	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
	ペブシド	100mg/m2	60分												
⑥	生理食塩液 or 5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC5	60分												
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			15分												
	内服制吐剤	☑化学療法開始時、アブレピタントカプセルを服用し、3日間服用 ☐不要 ☑デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	その他前投薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目以降は30分でも可能													

<投与期間>
3週間で1クール4サイクル施行

<備考欄>
5サイクル以降

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
②	生理食塩液	250mL	点滴静注 30分	↓											
	テセントリク点滴静注	1200mg													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											

<対象疾患>小細胞肺がん

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	パロノセトロン0.75mg	100mL	点滴静注	↓				↓					↓						
	デキサート注3.3mg	2A	60分																
②	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	↓				↓					↓						
	イリノテカン	80mg/m2	90分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓					↓						
			15分																
	内服制吐剤	☒ 不要																	
	その他前投薬	☒ 不要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

小細胞肺癌

NGT単独療法

<対象疾患>小細胞肺がん

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓				↓							
	デキサート注3.3mg	2A	30分																
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓				↓				↓							
	ハイカムチン	1mg/m2	30分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓				↓							
			15分																
	内服制吐剤	☒ 不要																	
	その他前投薬	☒ 不要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

AMR単独療法 NEW

<対象疾患>小細胞肺がん、再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	8	9	14	15	16	21		
①	パロノセトロン	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
②	生理食塩液	50mL	点滴静注		↓	↓									
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			15分												
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓	↓	↓									
	カルセド	40mg/m2	5分												
⑤	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			15分												
⑥	ヘクフィルグラスチム	1筒	皮下投与				↓								
	内服制吐剤	☑不要													
	その他前投薬	☑不要													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	ヘクフィルグラスチムは必要に応じて投薬													

<投与期間>

3週間で1クール

Alectinib単独療法

＜対象疾患＞ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

	薬剤名	投与量	投与スケジュール																	
			1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42				
①	Alectinib アレセンサカプセル	1回300mg1日2回内服 連日投与 PDまで	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	内服制吐剤	☒ 不要																		
	その他前投薬	☒ 不要																		
	経口抗がん剤併用薬																			
	備考	代謝にCYP3A4が関わっているので注意。間質性肺炎などに注意。																		

	薬剤名	投与量	投与スケジュール															
			1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42		
①	Afininib ジオトリフ	1回40mg1日1回内服 連日投与 PDまで	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	内服制吐剤	☒ 不要																
	その他前投薬	☒ 不要																
	経口抗がん剤併用薬																	
	備考	1日1回空腹時内服 下痢、皮膚障害に注意。ざ瘡用皮疹の治療指針に従う。																

	薬剤名	投与量	投与スケジュール														
			1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42	
①	Osimertinib タグリッソ錠	1回80mg1日1回内服 連日投与 PDまで	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	内服制吐剤	☒ 不要															
	その他前投薬	☒ 不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考	間質性肺炎、QT延長、皮膚障害に注意。 皮膚障害時には、ざ瘡用皮疹の治療指針に従う。															

Gefitinib単独療法

＜対象疾患＞EGFR遺伝子変異陽性の切除不能または再発非小細胞肺癌

	薬剤名	投与量	投与スケジュール																	
			1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42				
DCA	Gefitinib ゲフィチニブ錠	1回250mg1日1回内服 連日投与 PDまで	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	内服制吐剤	☒ 不要																		
	その他前投薬	☒ 不要																		
	経口抗がん剤併用薬																			
	備考	急性肺障害、間質性肺炎に注意。食後摂取が望ましい。																		

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール							
				1	2	3	8	9	10	14	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	サイラムザ	10mg/kg	60分*								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
④	Erlotinib エルロチニブ	1回150mg1日1回内服 連日投与 PDまで		●	●	●	●	●	●	●	
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☒ ボララミン注5mgを①中にIV									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	*2回目以降は30分での投薬が可能									
<投与期間> 2週間で1クール		間質性肺炎、皮膚障害に注意。発疹、ざ瘡が強く表れることが多いため、あらかじめ症状などを説明しておく									

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール							
				1	2	3	8	9	10	14	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	イミフィンジ	10mg/kg	60分*								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	☐ 不要 ☐ 必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	*2回目以降は30分での投薬が可能									
<投与期間>		間質性肺炎、下痢、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能低下症に注意。									
2週間で1クールで、12か月間まで											

非小細胞肺癌

Atezolizumab单独療法

＜対象疾患＞切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール										
				1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓										
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 60分*	↓										
	テセントリク	1200mg												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓										
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要												
	その他前投薬	☐ 不要 ☐ 必要												
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する												
	備考	*2回目以降は30分での投薬が可能												
＜投与期間＞		間質性肺炎、下痢、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能低下症に注意。												
3週間で1クールで、PDまで														

Nivolumab单独療法

＜対象疾患＞切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 2次治療以降

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール							
				1	2	3	8	9	10	14	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
②	生理食塩液 オプジーボ	100mL 240mg	点滴静注 30分	↓							
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓							
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要									
	その他前投薬	☐ 不要 ☐ 必要									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考										
<投与期間> 2週間で1クールで、PDまで		間質性肺炎、下痢、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能低下症に注意。									

非小細胞肺癌

Pembrolizumab单独療法

＜対象疾患＞切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

薬剤名			投与量	投与方法	投与スケジュール										
				点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	キイトルーダ	200mg	30分												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
内服制吐剤		☐ 不要 ☐ 必要													
その他前投薬		☐ 不要 ☐ 必要													
経口抗がん剤併用薬															
フィルター		☒ インラインフィルターを使用する													
備考															
＜投与期間＞		間質性肺炎、下痢、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能低下症に注意。													
3週間で1クールで、PDまで															

Pembrolizumab单独療法

＜対象疾患＞切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	22	28	35	42		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
			15分																
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓															
	キイトルーダ	400mg	30分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
			15分																
	内服制吐剤	□不要 □必要																	
	その他前投薬	□不要 □必要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する																	
	備考	*2回目以降は30分での投薬が可能																	
＜投与期間＞		間質性肺炎、下痢、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能低下症に注意。																	
6週間で1クールで、PDまで																			

非小細胞肺癌

DTX単独療法

<対象疾患> 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール																	
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21								
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓																	
	デキサート注3.3mg	2A	30分																		
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓																	
	ドセタキセル	70mg/m2	60分																		
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓																	
			30分																		
内服制吐剤		☒ 必要																			
		☒ デキサメタゾン錠8mg (Day2より3日間) 2回目以降は適宜																			
		☐																			
その他前投薬		☒ 不要 ☐ 必要																			
フィルター		☒ インラインフィルターを使用する																			
経口抗がん剤併用薬																					
備考																					

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

・ 投与可否基準

好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,000/mm3以上

・ 投与中止

AST,ALT>1.5×ULNかつALP>2.5×ULN

非小細胞肺癌

GEM単独療法

<対象疾患> 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	・	・	8	・	・	15	・	・	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓			↓					
	デキサート注射液3.3mg	2A	30分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓			↓			↓					
	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2	30分												
③	生理食塩液	50mL	全開	↓			↓			↓					
			flash用												
	内服制吐剤	☑不要 ☐必要													
	その他前投薬	☑不要 ☐必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

4週間で1クール

3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

<備考欄>

- ・ ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- ・ 減量基準
血液学的毒性: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更
悪心嘔吐: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更
血清クレアチニン値: 基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2→800mg/m2に変更
非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く)
grade1 → 減量なし Grade2-4: 1000→800mg/m2に減量

非小細胞肺癌

nab-PTX単独療法
＜対象疾患＞ 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール												
			点滴時間	1	・	・	8	・	・	15	・	・	21			
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓			↓					
	デキサート注射液3.3mg	2A	30分													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓			↓					
	アブラキサン	100mg/m2	30分													
③	生理食塩液	50mL	全開	↓				↓			↓					
			flash用													
	内服制吐剤	☒ 不要 ☐ 必要														
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要														
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用しない														
	備考															

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

Pemetrexed単独療法
＜対象疾患＞ 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール														
			点滴時間	1	・	・	8	・	・	15	・	・	21					
①	グラニセロン点滴静注バッグ3mg	100mL	点滴静注	↓														
	デキサート注射液3.3mg	1A	30分															
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓														
	ペメトレキセド	500mg/m2	10分															
③	生理食塩液	50mL	全開	↓														
			flash用															
	内服制吐剤	☒ 不要 ☐ 必要																
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要																
	フィルター	☐ インラインフィルターを使用する																
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコパール2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコパール1g筋注																

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

非小細胞肺癌

S-1単独療法

<対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール													
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29			42
①	S-1	1.25m2未満	40mg/回														
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回	●									→				休薬
		1.5m2以上	60mg/回														
	内服制吐剤	☒ 不要															
	その他前投薬	☒ 不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

<投与期間>

6週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

非小細胞肺癌

VNR単独療法

<対象疾患> 切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	・	・	8	・	・	15	・	・	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓							
			30分												
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓							
	ビノレルビン	500mg/m2	30分												
③	生理食塩液	50mL	全開	↓				↓							
			flash用												
	内服制吐剤	☑必要なし ☐必要あり													
	その他前投薬	☑不要 ☐必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

<対象疾患> 非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール												
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21			
①	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	↓												
	デキサート注3.3mg	3A	15分													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓												
	ペメトレキセド	500mg/m2	10分													
③	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓												
	硫酸Mg補正液	0.4A	60分													
④	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓												
			60分													
⑤	マンニトールS注	300mL	点滴静注	↓												
			40分													
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓												
	シスプラチン	75mg/m2	60分													
⑦	ラシックス注	1A	側注	↓												
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓												
			60分													
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓												
			60分													
⑩	生理食塩液	50mL	点滴静注													
			60分													
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセルを①開始時に服用。嘔気の具合によって、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。														
	その他前投薬	□デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬、 ☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用														
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する														
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコパール2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコパール1g筋注														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

非小細胞肺癌

Ramucirumab+DTX療法
＜対象疾患＞切除不能な進行・再発非小細胞肺癌、二次治療以降

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
①	グラニセトロン	100mL	点滴静注 15分	↓											
	デキサート注3.3mg	2A													
	ポララミン注5mg*1	1A													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
③	生理食塩液	250mL	点滴静注 60分*2	↓											
	サイラムザ	10mg/kg													
④	生理食塩液	100mL	点滴静注 60分*3	↓											
		(50mL)													
⑤	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注 60分	↓											
	ドセタキセル点滴静注	60mg/m2													
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
	内服制吐剤	□化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンも嘔気予防で使用する可能性がある(糖尿病禁忌)。 □不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	*1)またはレスタミンコーワ錠10mg5錠内服 *2)2回目以降は30分に変更可能 *3)2回目以降は15分に変更可能 ③は全量で250mLになるよう調整													

＜投与期間＞
3週間で1クール
＜備考欄＞

<対象疾患> 扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール										
			点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
			15分											
②	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓										
	テセントリク	1200mg	60分*1											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
	デキサート注3.3mg	3A	15分											
	ファモチジン静注20mg	1A												
④	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓										
			30分											
⑤	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓										
	ベバシズマブ	15mg/kg	90分*2											
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓										
	タキソール注	175mg/m2	180分											
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓										
	カルボプラチン	AUC6	60分											
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓										
			60分											
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセルを①開始時に服用。嘔気の具合によって、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。												
	その他前投薬	□デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬、 ☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用												
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する												
	備考	*1)2回目は30分、3回目以降は30分でも可能*2)2回目は60分、3回目以降は30分でも可能												

<投与期間>
3週間で1クールで4コース

<備考欄>

非小細胞肺癌

CDDP+PEM+Pembro療法

<対象疾患>扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	キイトルーダ	200mg	30分												
③	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	3A	15分												
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ペメトレキセド	500mg/m2	10分												
⑤	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓											
	硫酸Mg補正液	0.4A	60分												
⑥	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
⑦	マンニトールS注	300mL	点滴静注	↓											
			40分												
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	シスプラチン	75mg/m2	60分												
⑨	ラシックス注	1A	側注	↓											
⑩	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
⑪	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
⑫	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセルを①開始時に服用。嘔気の具合によって、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。													
	その他前投薬	□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコバル2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコバル1g筋注													

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

非小細胞肺癌

CBDCA+PEM+Pembro療法

<対象疾患> 扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	キイトルーダ	200mg	30分												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
④	グラニセロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	15分												
⑤	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ペメトレキセド	500mg/m2	30分												
⑥	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC6(5)	60分												
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
	内服制吐剤	☑化学療法開始時、アブレピタントカプセルを服用し、3日間服用 ☐不要 ☑デキサメタゾン錠4mg内服をday2-3まで投薬													
	その他前投薬	☐化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコパール2A筋注、パンビタン末1g/day 投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコ パール1g筋注													

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

非小細胞肺癌

CBDCA+PTX+Pembro療法

<対象疾患> 進行非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注												
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	キイトルーダ	200mg	30分												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A			15分										
	ファモチジン静注20mg	1A													
①	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注												
			15分												
④	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	タキソール注	200mg/m2	180分												
⑤	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC6	60分												
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注												
			15分												
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要													
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬 ☐ ☒ レスタミンコーワ錠10mgを5錠③中に内服													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、アプレピタントカプセルを服用し、3日間服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

非小細胞肺癌

Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法
＜対象疾患＞ 進行非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
		15分													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	オブジーボ	360mg	30分												
③	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
			15分												
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ヤーボイ	1mg/kg	30分												
⑤	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	15分												
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	ベメトレキシド	500mg/m2	60分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC5-6	60分												
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
	内服制吐剤	□不要 □必要													
	その他前投薬	□不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、アプレピタントカプセルを服用し、3日間服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコバル2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコバル1g筋注													

＜投与期間＞
3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

＜備考欄＞

非小細胞肺癌

Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法
＜対象疾患＞ 進行非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	オブジーボ	360mg	30分												
③	生理食塩液	100mL	点滴静注 15分	↓											
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ヤーボイ	1mg/kg	30分												
⑤	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	15分												
⑥	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	タキソール注	200mg/m2	180分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC6	60分												
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓											
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要													
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、アプレピタントカプセルを服用し、3日間服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコバル2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコバル1g筋注													

＜投与期間＞
3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

＜備考欄＞

非小細胞肺癌

Atezolizumab+CBDCA+ETP療法
＜対象疾患＞切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	テセントリク	1200mg	60分*												
③	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
			15分												
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	ヤーボイ	1mg/kg	30分												
⑤	グラニセトロン 静注3mg	100mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
	ロゼウス注	25mg/m2	5分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	AUC6	60分												
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要													
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時、アプレピタントカプセルを服用し、3日間服用													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目以降は30分で。													

＜投与期間＞
3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

＜備考欄＞

非小細胞肺癌

Atezolizumab+CBDCA+PEM療法 NEW
＜対象疾患＞扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓											
	テセントリク	1200mg	60分*												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
⑤	パロノセトロン 静注3mg	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
⑥	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	↓											
	カルボプラチン	6AUC	60分												
⑦	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
	ペメトレキセド	500mg/m ²	10分												
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
			15分												
	内服制吐剤	☑化学療法開始時、アブレピタントカプセルを服用し、3日間服用 ☐不要 ☑デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬													
	その他前投薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	治療開始前一週間以上前にメチコパール2A筋注、パンビタン末1g/day投薬開始。投与開始後、3週間 パンビタン1/day内服、9週ごとにメチコパール1g筋注													

＜投与期間＞
3週間で1クール。

＜備考欄＞

非小細胞肺癌

CDDP+GEM+Pembro療法

<対象疾患>扁平上皮がんの非小細胞肺癌における術前・術後補助療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール																
				1	2	3	4	8	10	14	15	16	21							
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓																
①'	生理食塩液	50mL	点滴静注																	
	デキサート注3.3mg	2A(1A)	15-30分				↓	↓												
①''	生理食塩液	50mL	点滴静注																	
	デキサート注3.3mg	2A	30分		↓	↓														
	プリンペラン注	1A																		
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓																
	キイトルーダ	200mg	30分																	
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓																
			15分																	
④	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓																
	デキサート注3.3mg	3A	15分																	
⑤	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓																
	ゲムシタビン	1000mg/m2	30分					↓												
⑥	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓																
	硫酸Mg補正液	0.4A	60分																	
⑦	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓																
			60分																	
⑧	マンニトールS注	300mL	点滴静注	↓																
			40分																	
⑨	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓																
	シスプラチン	75mg/m2	60分																	
⑩	ラシックス注	1A	側注	↓																
⑪	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓														
			60-90分																	
⑫	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓	↓	↓														
			60-90分																	
⑬	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓																
			60分																	
⑬'	生理食塩液	50mL	点滴静注					↓												
			フラッシュ																	
	内服制吐剤	☐ 不要 ☒ アプレピタントカプセルを①開始時に服用。嘔気の具合によって、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。 ☐ 不要 ☐ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬																		
	その他前投薬	☐ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																		
	備考																			

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

非小細胞肺癌

CDDP+VNR療法

<対象疾患> stageⅢおよびⅣの非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
①	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	↓											
	デキサート注3.3mg	3A	15分												
①'	生理食塩液	50mL	点滴静注												
	デキサート注3.3mg	2A	15-30分				↓	↓							
①''	生理食塩液	50mL	点滴静注												
	デキサート注3.3mg	2A	30分		↓	↓									
	プリンペラン注	1A													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓											
	ロゼウス	25mg/m2	5分					↓							
③	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓											
	硫酸Mg補正液	0.4A	60分												
④	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
⑤	マンニトールS注	300mL	点滴静注	↓											
			40分												
⑥	生理食塩液	500mL0.5袋	点滴静注	↓											
	シスプラチン	80mg/m2	60分												
⑦	ラシックス注	1A	側注	↓											
⑧	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			60-90 分												
⑨	ソルデム3A	500mL	点滴静注	↓	↓	↓									
			60-90 分												
⑩	生理食塩液	500mL	点滴静注	↓											
			60分												
⑩'	生理食塩液	100mL	点滴静注					↓							
			フラッシュ												
	内服制吐剤	□不要 ☒ アプレピタントカプセルを①開始時に服用。嘔気の具合によって、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。													
	その他前投薬	□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬													
	フィルター	☒ 化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用													
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

CMF (CPA+MTX+5FU)療法

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	23	25	27	28		
①	グラニセトロン	100mL	点滴静注	↓				↓											
	デキサート注3.3mg	3A	15分																
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓				↓											
	メトトレキサート	40mg/m2	20分																
③	生理食塩液	250mL	点滴静注	↓				↓											
	5FU	600mg/m2	20分																
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓				↓											
			15分																
⑤	エンドキサン錠	100mg/m2	1日1回 内服	●	●	●	●	●	●	●	休薬								
	内服制吐剤	□不要 □必要																	
	その他前投薬	□不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3、day9-10まで投薬																	
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンをday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。																	
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>
4週間で1クール

<備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量

CPA: 肝機能低下症例に対する減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3×ULN	25%減量
> 5.0	中止

MTX

MTX: 腎障害時の減量の目安

CCr(mL/min)	46~60	31~45
	35%減量	50%減量

MTX: 肝障害時の減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3×ULN	25%減量
> 5.0	中止

FEC (5FU+EPI+CPA)療法

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール										
				1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	
①	パロノセトロン	50mL	点滴静注	↓										
	デキサート注3.3mg	3A	30分											
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
	エピルビシン	100mg/m2	20分											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
			15分											
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
	5FU	500mg/m2	15分											
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
	エンドキサン	500mg/m2	30分											
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓										
			15分											
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要												
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬												
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンをday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。												
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する												
	備考													

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量

CPA: 肝機能低下症例に対する減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3×ULN	25%減量
> 5.0	中止

EPI: 肝障害時の減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
1.2~ 3.0 かつ2~4×ULN	50%減量
3.1~ 5.0 >4×ULN	75%減量

DTX単独療法

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール																
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	21							
①	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓																
	デキサート注3.3mg	2A																		
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注 60分	↓																
	ドセタキセル	60mg/m2																		
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓																
		☒ 必要																		
	内服制吐剤	☒ デキサメタゾン錠8mg（Day2より3日間） 2回目以降は適宜																		
		☐																		
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要																		
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																		
	経口抗がん剤併用薬																			
	備考																			

＜投与期間＞

3週間で1クール

＜備考欄＞

- 投与可否基準

好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,000/mm3以上

- 投与中止

AST,ALT＞1.5×ULNかつALP＞2.5×ULN

weekly PTX単独療法
＜対象疾患＞術後化学療法、転移再発症例

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール			
			点滴時間	1	2	3	7
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓			
	デキサート注3.3mg	2A					
	ファモチジン静注用20mg	1A					
②	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓			
③	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注 60分	↓			
	タキソール	80mg/m2					
④	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓			
		☒ 必要					
	内服制吐剤	☒ デキサメタゾン錠8mg (Day2より3日間) 2回目以降は適宜					
		☒ ①点滴中にレスタミン錠5錠内服					
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要					
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する					
	経口抗がん剤併用薬						
	備考						

＜投与期間＞
1週間で1クール

＜備考欄＞

白血球数又は好中球数が以下の基準に当てはまれば回復するまで投与を延期

	白血球	好中球
初回コース	3,000mm3未満	1,500mm3未満
同一コース	2,000mm3未満	1,000mm3未満

減量の目安

減量段階	投与量
通常投与量	80mg/m2
1段階減量	60mg/m2

EPI: 肝障害時の減量の目安

AST・ALT	T～Bil(mg/dL)	投与量
10×ULN未満 かつ 1.26～ 2.0×ULN		25%減量
10×ULN未満 かつ 2.01～ 5.0×ULN		50%減量
10×ULN以上 かつ 5.0×ULNを超える		中止

weeklyPTX+Trastuzumab療法
＜対象疾患HER2陽性の手術不能または再発乳癌＞

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	7	8	10	15	16	17	21	23	25	27	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓					↓		↓				↓				
			15分																
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
	トラスツズマブ	4mg/kg	90分																
②	生理食塩液	50mL	点滴静注						↓		↓					↓			
	トラスツズマブ	2mg/kg	90分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓					↓		↓								
	デキサート注3.3mg	2A																	
	ファモチジン静注用20mg	1A																	
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓					↓		↓								
			30分																
⑤	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓					↓		↓								
	タキソール	80mg/m2	60分																
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓					↓		↓					↓			
			15分																
	内服制吐剤	☒ 必要																	
		☒ デキサメタゾン錠8mg (Day2より3日間) 2回目以降は適宜																	
		☒ ③点滴中にレスタミン錠5錠内服																	
		☒ 不要 ☐ 必要																	
		☒ インラインフィルターを使用する																	
	その他前投薬																		
	フィルター																		
	経口抗がん剤併用薬																		
	備考																		

＜投与期間＞
4週間で1クール

＜備考欄＞
白血球数又は好中球数が以下の基準に当てはまれば回復するまで投与を延期

	白血球	好中球
初回コース	3,000mm3未満	1,500mm3未満
同一コース	2,000mm3未満	1,000mm3未満

減量の目安

減量段階	投与量
通常投与量	80mg/m2
1段階減量	60mg/m2

EPI: 肝障害時の減量の目安

AST・ALT	T～Bil(mg/dL)	投与量
10×ULN未満 かつ 1.26～ 2.0×ULN		25%減量
10×ULN未満 かつ 2.01～ 5.0×ULN		50%減量
10×ULN以上 かつ 5.0×ULNを超える		中止

VNR単独療法

<対象疾患>手術不能または再発乳がん

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	・	・	8	・	・	15	・	・	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓								
②	生理食塩液	50mL	点滴静注 30分	↓			↓								
	ビンレルビン	500mg/m2													
③	生理食塩液	50mL	全開	↓			↓								
			flash用												
	内服制吐剤	☑必要なし ☐必要あり													
	その他前投薬	☑不要 ☐必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

好中球数低下症例に対する減量の目安

投与日の好中球数(/mm3)	投与割合
≥1,500	100%
1,000～1,499	50%
<1,000	投与延期

好中球数が1500未満の時に発熱 and/or敗血症が発生した場合、もしくは好中球数減少のために2週間の投与延期となった場合

>1,500	75%
1,000～1,499	38%
<1,000	投与延期

肝機能低下症例に対する減量の目安

T-Bil	VNR投与量
2.1～3.1mg/dL	50%減量
>3.0mg/dL	75%減量

100mL

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール								
				1	2	3	4	8	9	14		
①	パロノセトロン	50mL	点滴静注	↓								
	デキサート注3.3mg	3A	30分									
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓								
	エピルビシン	90mg/m2	20分									
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓								
			15分									
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓								
	エンドキサン	600mg/m2	30分									
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓								
			15分									
	内服制吐剤	☐ 不要 ☐ 必要										
	その他前投薬	☐ 不要 ☒ デキサメタゾン錠8mg内服をday2-4まで投薬										
	経口抗がん剤併用薬	☒ 化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンをday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。										
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する										
	備考											

<投与期間>

2週間で1クール

<備考欄>

CPA:腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量

CPA:肝機能低下症例に対する減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3×ULN	25%減量
> 5.0	中止

EPI:肝障害時の減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
1.2~ 3.0 かつ2~4×ULN	50%減量
3.1~ 5.0 >4×ULN	75%減量

S-1単独療法

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29			42		
①	S-1	1.25m2未満	40mg/回	●												→	休薬		
		≥1.25,<1.5m2	50mg/回																
		1.5m2以上	60mg/回																
	内服制吐剤	☒ 不要																	
	その他前投薬	☒ 不要																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	備考																		

<投与期間>

6週間で1クール

<備考欄>

・減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

腎機能低下時の減量基準

≥80	減量なし
60～80	必要に応じて1段階減量
30～60	1段階以上の減量(2段階が望ましい)
<30	投与中止

GEM単独療法 NEW

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
--	-----	-----	--------------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<投与期間>

3週間で1クール
3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

<備考欄>

- ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- 減量基準
血液学的毒性:Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更
悪心嘔吐:Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更
血清クレアチニン値:基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2→800mg/m2に変更
非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く)
grade1 → 減量なし Grade2-4:1000→800mg/m2に減量

Capecitabine単独療法

<対象疾患>術後化学療法

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	カペシタビン	1.36m2未満 1200mg/回												休薬	
		1.36m2- 1.66m2	1500mg/ 回	●											
		1.66-1.96m 2	1800mg/ 回												
		1.96m2以	2100mg/												
	内服制吐剤	☑不要 ☐アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	☑不要 ☐必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☐インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

投与前のCcrが30mL/min未満 → 投与禁忌
投与開始前のCcrが30～50mL/min → 75%用量
投与開始前のCcrが51～80mL/min → 減量の必要なし

Eribulin単独療法

<対象疾患>手術不能または再発乳がん

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール														
			点滴時間	1	・	・	8	・	・	15	・	・	21					
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓			↓											
			30分															
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓			↓											
	ハラヴェン	1.4mg/m2	5分															
③	生理食塩液	50mL	全開	↓			↓											
			flash用															
	内服制吐剤	☒ 必要なし ☐ 必要																
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要																
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																
	備考																	

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄>

下記の基準を満たさない場合、投与を延期する
好中球数 ≥ 1,000
血小板数 ≥ 75,000
非血液毒性: Grade2以下

減量の目安

減量段階	通常投与量	1段階減量	2段階減量
投与量	1.4mg/m2	1.1mg/m2	0.7mg/m2

腎機能低下症例に対する減量の目安

Ccr	> 50	15～49
投与量	1.4mg/m2	1.1mg/m2

肝機能低下症例に対する減量の目安

Child-Pugh分類	投与量
A	1.1mg/m2
B	0.7mg/m2
Child-Pugh分類	使用経験なし

Lapatinib+Capecitabine単独療法

<対象疾患> 転移・再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール											
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
①	カペシタビン	1.36m2未満	1200mg/回	●											休薬
		1.36m2-1.66m2	1500mg/回												
		1.66-1.96m2	1800mg/回												
		1.96m2以上	2100mg/回												
②	タイケルブ	1250mg	2100mg/回	●											
	内服制吐剤	☒ 不要 ☐ アプレピタントカプセル3日分内服													
	その他前投薬	☒ 不要													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☐ インラインフィルターを使用する													
	備考														

<投与期間>
3週間で1クール

<備考欄>

Capecitabine減量の目安

投与量	1回用量	
	減量段階1	減量段階2
1.36m2未満	900mg	600mg
1.36m2-1.42m2		
1.42m2-1.51m2		
1.51-1.66m2	1,200mg	900mg
1.66-1.81m2		
1.81-1.96m2		
1.96m2以上	1,500mg	

Capecitabine:有害事象発現時の休薬減量の規定

治療再開時の投与量

重症度	カペシタビン投与	1回目	2回目	3回目	4回目
Grade2	休薬最大14日間、 Grade1以下に回復後、 右の基準に従う	減量不要 減量段階1	減量段階1	減量段階2	投与中止
Grade3		減量段階1	減量段階2	投与中止	
Grade4		減量、継続、再開は事象ごとに判断			

Capecitabine:血液検査以上発現時の休薬・減量の規定

重症度	投与	1回目	2回目	3回目	4回目
500/mm3 ≤ neu < 1000/mm3 25000 ≤ Pt < 75000mm3 6.5g/dL ≤ Hb < 9.0g/dL 1.5mg/dL < Cre ≤ 6 × ULN Ccr < 40mL/min	休薬最大14日間、 Grade1以下に回復後、 右の基準に従う	減量不要 減量段階1	減量段階1	減量段階2	投与中止
Grade4		減量、継続、再開は事象ごとに判断			

Lapatinib:有害事象発現時の休薬減量の規定

治療再開時の投与量

重症度	投与	1回目	2回目	3回目	4回目
Grade2	継続	減量不要		減量不要又は減量 1000mg/day	減量 1000mg/day
Grade3	休薬、最大14日間	減量不要又は減量1000mg/dayで再開			
Grade4		減量、継続、再開は事象ごとに判断			

Lapatinib:有害事象発現時の休薬減量の規定

治療再開時の投与量

重症度	投与	1回目	2回目	3回目	4回目
500/mm3 ≤ neu < 1000/mm3 25000 ≤ Pt < 75000mm3 6.5g/dL ≤ Hb < 9.0g/dL 1.5mg/dL < Cre ≤ 6 × ULN Ccr < 40mL/min	休薬、最大14日間	減量不要	減量不要又は減量 1000mg/day	減量不要又は減量 1000mg/day	投与中止
Neu < 500mm3、 Pt < 25,000mm3、Hb < 6.5g/dL、 Cre < 6 × ULN			減量、継続、再開は事象ごとに判断		

乳癌

Palbociclib+Fulvestrant療法
＜対象疾患＞ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

＜治療レジメン＞

	薬剤名	用法	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	イブランスカプセル	1日1回内服	1回125mg	●										▶		休薬			
②	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg	●								●*							
	内服制吐剤	☑不要																	
	その他前投薬	☑不要																	
	フィルター																		
	備考	*1コース目のみ実施																	

＜投与期間＞
4週間で1クール

減量基準	
減量段階	Palbociclib投与量
第一段階	1回100mgを1日1回
第二段階	1回75mgを1日1回

Abemaciclib+Fulvestrant療法
＜対象疾患＞ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

＜治療レジメン＞

	薬剤名	用法	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	ベージニオ	1日2回内服	1回250mg	●														▶	
②	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg	●								●*							
	内服制吐剤	☑不要																	
	その他前投薬	☑不要																	
	フィルター																		
	備考	*1コース目のみ実施																	

＜投与期間＞
4週間で1クール

減量段階		Abemaciclib投与量
第一段階		1回100mgを1日2回
第二段階		1回50mgを1日2回

Fulvestrant療法
＜対象疾患＞ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

＜治療レジメン＞

	薬剤名	用法	投与量	投与スケジュール															
				1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28		
①	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg	●								●*							
	内服制吐剤	☑不要																	
	その他前投薬	☐不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン 8 mg/dayを使用																	
	フィルター																		
	備考	*1コース目のみ実施																	

＜投与期間＞
4週間で1クール

Trastuzumab単独療法

<対象疾患> 転位・再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
			点滴時間	1	2	3	4	5	6	7	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓							
			15分								
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓							
	トラスツズマブ	4mg/kg*	90分*								
③	生理食塩液	50mL	全開	↓							
			flash用								
	内服制吐剤	☒ 必要なし ☐ 必要なし									
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要									
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する									
	備考	*2回目以降は2mg/kgで、30分点滴でも可能									

<投与期間>

1週間で1クール

Trastuzumab単独療法

<対象疾患> 転位・再発症例

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール														
			点滴時間	1	2	3	4	5	6	7	8	15	16	18	20	21		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓														
			15分															
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓														
	トラスツズマブ	8mg/kg*	90分*															
③	生理食塩液	50mL	全開	↓														
			flash用															
	内服制吐剤	☑必要なし ☐必要なし																
	その他前投薬	☑不要 ☐必要																
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する																
	備考	*2回目以降は6mg/kgで30分点滴でも可能																

<投与期間>

3週間で1クール

weekly nab-PTX単独療法
＜対象疾患＞術前術後化学療法、転移再発症例

＜治療レジメン＞

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
			点滴時間	1	2	3	7	8	9	14	15	16	21		
①	生理食塩液	100mL	点滴静注	↓					↓			↓			
	デキサート注3.3mg	2A	30分												
②	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	↓					↓			↓			
	アブラキサン	100mg/m2	30分												
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓					↓			↓			
			15分												
	内服制吐剤	☒ 不要 ☐ 必要													
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要													
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用しない													
	経口抗がん剤併用薬														
	備考														

＜投与期間＞
3週間で1クール

＜備考欄＞

weeklyPTX+Trastuzumab療法
<対象疾患>HER2陽性の手術不能または再発乳癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法 点滴時間	投与スケジュール															
				1	2	3	7	8	10	15	16	17	21	23	25	27	28		
①	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓		↓			↓						
②	生理食塩液	50mL	点滴静注 90分	↓															
	トラスツズマブ	4mg/kg																	
②	生理食塩液	50mL	点滴静注 90分*					↓		↓			↓						
	トラスツズマブ	2mg/kg																	
③	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓		↓									
	デキサート注3.3mg	2A																	
	ファモチジン静注用20mg	1A																	
④	生理食塩液	100mL	点滴静注 30分	↓				↓		↓									
⑤	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注 60分	↓				↓		↓									
	タキソール	80mg/m2																	
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	↓				↓		↓			↓						
		☒ 必要																	
	内服制吐剤	☒ ③点滴中にレスタミン錠5錠内服																	
	その他前投薬	☒ 不要 ☐ 必要																	
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	経口抗がん剤併用薬																		
	備考	*2回目以降は30分でも可能																	

<投与期間>
4週間で1クール

<備考欄>

悪性リンパ腫

CHOP療法 NEW

<対象疾患>びまん性大細胞型B細胞リンパ腫

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール															
			点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	23	25	27	28		
①	パロノセトロン	50mL	点滴静注	↓															
	デキサート注3.3mg	3A	30分																
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
	オンコビン	1.4mg/m2	5分																
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
	ドキソルビシン	50mg/m2	30分																
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
	エンドキサン	750mg/m2	120分																
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓															
			5分																
	内服制吐剤	□不要 ☒ day2～5にデキサメタゾン錠8mgを経口投与																	
	その他前投薬	□不要 ☒ 必要に応じて、プレドニゾン錠100mgをday1～4に投薬																	
	経口抗がん剤併用薬	□																	
	フィルター	☒ インラインフィルターを使用する																	
	備考																		

<投与期間>

4週間で1クール

<備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	10>
	25%減量

CPA: 肝機能低下症例に対する減量の目安

T～Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ～ 5.0 or >3×ULN	25%減量
> 5.0	中止

VCR

最大投与量2mg/day

VCR: 肝機能低下症例に対する減量の目安

T～Bil(mg/dL)	投与量
1.5～ 3.0	50%減量
>3.1	中止

アントラサイクリン系の総投与量「が500mg/m2

DXR: 肝機能低下症例に対する減量の目安

T-Bil(mg/dL) or AST	DXR投与量
1.5～3.0 or 60～180	50%減量
3.1～5.0 or >180	75%減量
>5.0	投与すべきではない

関節リウマチ

[illegible]

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
ヒュミラ療法	ヒュミラ(皮下注)	40mg	2週間に1回

レジメン名	薬品名	投与量 患者体重:投与量	投与日						
オレンシア療法	オレンシア(点滴静注)	60kg> :500mg	0週	2週	4週			8週	以後4週間隔
		60kg≤、100kg≥: 750mg	●	●	●			●	
		100kg< :1g	初回投与後、2週、4週に投与。以後4週間隔						

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
オレンシア療法	オレンシア(皮下注)	125mg	1週間に1回

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
エンブレル療法 (エタネルセプト)	エンブレル (エタネルセプト)	10～25mg	1日1回、週に2回
		25～50mg	1日1回、週に1回

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
シンホニー療法	シンホニー(皮下注)	MTX併用	4週に1回
		50mg	
		MTX併用なし	
		100mg	

関節リウマチ

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
ケブザラ療法	ケブザラ(皮下注)	200mg	2週間隔で投与

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
シムジア療法	シムジア(皮下注)	初回・2週後・4週 400mg 以後200mg	0週
			2週
			4週
			6週
			以後1回200mgを2週間隔
			1回400mgを初回、2週、4週に投与。以後1回200mgを2週間隔

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
アクテムラ療法	アクテムラ	点滴静注	8mg/kg
		皮下注	162mg
			4週間隔で投与
			2週間隔で投与

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
abatacept+CBDC+PEM療法	ゼルヤンツ錠5mg	1回1錠	1回5mg1日2回内服
バリシチニブ療法	オルミエト錠2mg	1回1錠	1回2mg1日1回内服
ペフィシチニブ療法	スマイラフ錠100mg	1回1錠	1回100mg1日1回内服
ウパダシチニブ療法	リンヴォック錠15mg	1回1錠	1回15mg1日1回内服(場合によっては1回7.5mgに減量)

レジメン名	薬品名	投与量	投与日
ナノゾラ療法 NEW	オゾラリズマブ (皮下注)	MTX併用なし	4週に1回
		30mg	